

# 竹林保全活動のNPO

## 「ビオトープ・ネット」 景観整備機構に指定

づき、民間による景観の保全・整備活動を支援する制度。県が公益法人やNPOを指定する。

北九州ビオトープ・ネットワーク研究会は、建築や水質、農業などの研究者や自治体職員らが中心メンバー。2001年に発足し、03年にNPO法人化した。

現在は若松区を中心に毎月第2土曜日に竹林の間伐を行い、企業と協力して竹を繊維化し建設資材にしたり、子ども向けの竹細工教室を開いたりしている。また、田んぼや川などでの体験型イベントを通じ、市民に風景や自然への意識を高めてもらう活動を続けている。

同研究会は昨年10月、竹林保全の活動が評価され、「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者表彰」の環境大臣賞に選ばれた。同月、名古屋市であった生物多様性条約第10回締約国会議（国連地球生きもの会議）の関連イベントに

景観整備機構は景観法に基

も出展した。安枝裕司事務局長は「単に保護するという視点ではなく、地域の営みと関



2011年(平成23年)

2月16日

水曜日

連した『生活景観』をつくることをめざして活動を続けた」と話している。(河原一郎)